

特別研修

月例研究会 議事録 (7 月)

2008 年度第 2 回

報告題名 日本の農産物輸出に関する研究	
報告者 鹿嶋 純子 (所属分野) 情報経営学分野	日時 15:00~17:00 場所 第7講義室
座長 菅井	議事録担当者 池田
出席者 長谷部、木谷、大鎌、石井、大村、米倉、川島、伊藤、澁谷、菅井、鹿嶋、小山田、張、池田、飯塚、田口、スチン、ソ、八木、柳瀬、神浦、佐々木、島崎、野村	
報告要旨 日本の農産物輸入は、2007年には戦後最大の輸入となった。日本の農業は、国際的にWTO、EPA・FTAが進展するなか関税や農業補助金の削減が求められている。国内市場は少子高齢化により縮小傾向にある。日本の農業を衰退させないために国際競争力のあるものにしていかなければならない。市場開拓の一つとして海外への輸出を考えた。 日本は、2005年4月に本格的に農産物輸出に取り組んでいる。本報告では、輸出政策の取組と課題、輸出の現状把握、輸出重点国・地域である台湾、中国、香港の流通と商慣行についての課題を抽出し、輸出に取り組むべき方向を考察したい。	

質疑・応答

報告者：鹿嶋純子 議事録担当：池田敦

澁谷：香港に輸出しているのは何ですか。

鹿嶋：梨，リンゴとかです。

澁谷：品質クレームとは何ですか。

鹿嶋：キャベツの先の葉っぱが枯れているとか，傷んでいるということです。

澁谷：鮮度が落ちたのではなく輸送途中のことなのですか。

鹿嶋：はい。

澁谷：品質クレームが多くなっているのは，輸出量に比例してかそれとも割合に対してなのか。

鹿嶋：輸入業者が言うには割合が多くなっているということです。本によれば、台湾重視して香港は軽視しているのではないかとっています。香港に輸出する場合検査が厳しくなるので。

澁谷：それが物流の課題につながるわけですね。

鹿嶋：そうです。あと混載の問題もありまして腐りやすくなるので、それを防止する薬剤が高くて買えないという業者の方もいました。

田口：台湾と香港では正規流通ルートはないのか、中国独自のものなのですか。

鹿嶋：まだ、わかりません。

田口：正規流通ルートでどの程度の量が入っているのか、割合に対して何%か調べても面白いのではないのですか。

鹿嶋：ありがとうございます。

澁谷：何が正規流通ルートで何が不正規ではないのか。

鹿嶋：それは、よくわかりません。

大鎌：委託販売が多いという指摘があったのだが、何がいけないのか。

鹿嶋：価格に反映されて価格が高くなり消費者が価格の高いものを買ってしまうということです。

大鎌：よくわからないのですが、委託販売というのは価格は委託者が決めて置いてくださって頼むのですか。

鹿嶋：はいそうです。

大鎌：これで売れない場合、委託者があらかじめ価格を下げて表示して売るということもありますよね、日本が委託販売慣れていないのか、どういうことが問題となっているのか。

鹿嶋：よくわからないので調べておきます。

米倉：農産物輸出とは加工食品も入っているのですか。

鹿嶋：はい、加工食品も入っています。

米倉：中国での代金回収の問題とあるが、どの段階での代金回収の問題なのか。

日本からの輸出のときか、中国に入ってから流通段階なのか。

鹿嶋：調べておきます。

大鎌：物流のところで混載できる貨物が限られているとあるが、ダンボールを輸出でコンテナにつんで運んでいるのですか。リンゴや野菜を一緒にしちゃうって話ですか

鹿嶋：はい。

大鎌：コンテナを小分けにはできないのですか。

鹿嶋：20フィートが小さいものになります。

大鎌：ということは、輸出する商品のロットが小さいからですか。

鹿嶋：はい、そうなります。

大鎌：船便ですか。飛行機で送ることはないのですか。

鹿嶋：わかりません。

大鎌：一般的に20フィートコンテナで送っているのですか。

鹿嶋：リンゴの場合はわかりません。青森県ではリンゴは船便で送っています。さくらんぼ、イチゴ、桃という傷みの激しいのは航空便で送っています。

大鎌：航空便と船便の場合で問題が違ってくると思うのですが。

鹿嶋：その辺はよく調べておきます。

石井：輸出業者はどういった企業なのか。リンゴの場合、それぞれの業者は複数の国に送っているのか、それとも特定の国に送っているのか。日本の業者はどういう性質なのか。

鹿嶋：リンゴの場合、青森県では中国に強い業者と台湾と香港に強い業者があります。日本全体でどうなのかはわかりません。

菅井：農産物流通システムを構築することで、東アジアにおいて互い得意分野の貿易を活発にできるということは、比較生産性の問題なのか、どういうことをお考えなのか。

鹿嶋：加工が得意なところは加工、生産が得意なところは生産ということです。

菅井：原材料生産か加工食品かということでお考えですか。とすると日本は何なのか。

鹿嶋：勉強しておきます。